



豊野小学校だより



令和5年5月1日発行

5月号

加須市立豊野小学校
～時を守り、場を清め、礼を正す～



学校教育目標 「ともだちと仲よくできる子 よく考え進んで学習する子 のびのびと明るくたくましい子」

目指す学校像 「元気と活気にあふれた 魅力的で美しい学校」～自ら学び、自ら考える児童の育成～



思いやりのある人は魅力的

校長 増田 博幸

新年度が始まり、1ヶ月が経ちました。子供達は、毎日元気に学校生活を送っています。保護者の皆様も、入学または進級したお子様を見て、「こんなに違うものかな。」と、驚かされる場面もたくさん感じているのではないのでしょうか。特に、6年生はすっかり最高学年らしくなり、学校生活をリードする姿が見られます。1年生も日に日にしっかりしてきて、今ではすっかり豊野小学校の仲間として笑顔で楽しく過ごしています。少し疲れが見えてきた子供達もいますが、これから迎える5月の5連休で心身ともにリフレッシュして、5月8日からまた元気に登校できることを楽しみにしています。



さて、4月の私は、毎朝通学路を歩きました。子供達は私と会うと「増田校長先生、おはようございます。」と名前を呼んで、明るく元気にあいさつをしてくれます。私も子供達に負けないように、明るくあいさつを返します。

子供達が毎朝歩く通学路は、学校周辺の道路であったり、自動車が通行できない遊歩道であったり、県道沿いの歩道であったりと様々です。そのような通学路を1年生も少しずつ慣れ、通学班の仲間と一緒に歩いて登校しています。長い道のりを歩き、やっと学校に着いたという表情を見せる子供もいます。

その登校の様子を見ていると、通学班の班長さんは何度も後ろを振り返り、1年生のペースを考えたり、顔を見て疲れ具合を確かめたりしながら歩いています。副班長さんや高学年の子供達は、1年生や低学年が遅れないようにと気を遣って声をかけながら、後ろから見守ってくれています。それぞれの立場で役割を果たす高学年の姿は、頼もしくもあり、「思いやり」のある姿にとっても感心しています。

「思いやり」というのは、相手の立場になって、どうすることが一番いいのかをよく考えて、行動することなのです。私は、そんな「思いやり」のある人（子供や大人）に出会うと、その人がとても美しく、魅力的な人だなと感じます。他の言葉で表すと「かっこいい」と思います。そのような「かっこいい」子供達を学校、家庭、地域が連携・協働して育み、『元気と活気にあふれた魅力的で美しい学校』を目指していきたいと考えておりますので、保護者や地域の皆様の御理解と御協力をお願いします。

最後に、保護者や学校応援団、スクールガードリーダー、地域の皆様、毎朝子供達の登校を見守っていただき、ありがとうございます。毎日多くの大人が交差点や危険な場所に立ったり、一緒に歩いてくださったりしていることを知り、改めて子供達は「地域の宝」として大切に見守られていると実感しました。引き続き、子供達の安心・安全な登下校に御理解と御協力をお願いします。